

令和5年度 第45回 東大阪市子ども・子育て会議  
議事録

日時：令和5年11月22日（水） 10:00～11:45

場所：本庁舎18階研修室

出席者：子ども・子育て会議委員

14名

（中川副会長、阿部委員、大西委員、奥野委員、川南委員、下岡委員、中泉委員、中西委員、  
中村委員、檜崎委員、西岡委員、福池委員、森内委員、山中委員）

事務局

27名

（北林、岩本、森田、永吉、望月、川東、山口、高橋、高品、赤穂、西田、中渕、出口、早崎、増井、浦野、  
村田、辰己、野村、石塚、三木、和田、斎藤、田谷、古井、日高、樽井）

計41名

#### 資料

【資料1】第二期事業評価調査票

【資料2】第三期子ども・子育て支援事業計画に係るアンケート調査について

【資料3】国・府アンケート項目一覧

【資料4】修正削除項目一覧

【資料5】就学前アンケート

【資料6】小学生アンケート

【資料7】産婦アンケート

【資料8】【府作成】調査票ひな形（就学前）

【資料9】【府作成】調査票ひな形（小学生）

【参考】前回アンケート

#### 議事録

##### ●事務局・山口

それでは、定刻となりましたので、ただ今から第45回子ども・子育て会議を開催いたします。

本日は、大変お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。司会を務めさせていただきます、子どもすこやか部子育て支援室の山口と申します。どうぞよろしく願いいたします。本日、全委員18名中14名の御出席をいただいております。東大阪市子ども・子育て会議条例第6条第2項において、「会議は委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」とされておりますが、以上のとおり本日は定足数を満たしておりますことを御報告申し上げます。本会議は議論の状況を速やかに公開するという観点から、議事録を後日、本市子どもすこやか部ホームページにて公開する予定です。また、会議についても公開を原則としておりますので、「東大阪市子ども・子育て会議傍聴に関する指針」に従い募集いたしました。申し込

みがなかったことを報告させていただきます。それでは、お手元に配布いたしております資料のご確認をお願いいたします。当日配布資料としまして、配席表をお配りしております。また、事前配布資料は会議次第、配布資料一覧に記載されております資料となります。資料はお揃いでしょうか。また本日お配りしております配席表につきまして、下岡委員の記載が抜けております。申し訳ございませんでした。本日は関川会長が急遽、ご欠席のためこの後の議事進行を中川副会長にお願いしたいと思っております。よろしくをお願いいたします。

#### ●中川副会長

皆様おはようございます。改めまして第45回目ということです。私もここ数回は公務の関係で出席できていませんでしたが、本日は皆様とともに、第三期東大阪市子ども・子育て支援事業計画の策定に向け、事前にアンケート資料をお手元に送らせていただきましたが、内容について検討したいと思います。この11月はオレンジリボンキャンペーン、児童虐待防止月間ということで、年中意識する必要があると思いますが、皆様に認識するようという月間になります。紫のDVを防止しようというリボンと従来の児童虐待防止のオレンジリボンというダブルリボンがありますが、皆様は東大阪市で当事者として子ども子育て支援に関わっていただいております。子ども・子育て支援事業計画は、子ども当事者とともにその家庭や環境を改めて考え、東大阪の全ての子どもという大きな括りになります。ニーズ調査は第三期ということで5年毎の推移を見る目的もありますが、全ての子どもという意味合いを多面的に考える必要があります。限られたお時間ではありますが皆様のご意見をいただき、より適切なニーズを把握でき、保護者にとっても分かりやすい表現などを意識して検討いただければと思います。どうぞよろしくをお願いいたします。それでは次第の議事は1点になりますが、膨大な資料になりますので事務局より、的確にご説明させていただければと思います。よろしくをお願いいたします。

#### ●事務局・増井

－【資料1】に基づき説明－

#### ●中川副会長

ありがとうございます。次第の議事では、令和7年度から実施される三期計画策定に向けたアンケート内容を議論しますが、まずは現行、令和5年までの二期計画の事業評価についてポイントを絞ってご説明いただきました。大きな柱として待機児童の問題、次に学童保育と言われる留守家庭児童育成事業の推移、保育のニーズがあがればその子どもたちが学校に行ってから放課後ということで待機児童に向けた整備というところ、広場と言われる地域子育て支援拠点事業の整備状況についてです。二期計画のご報告でしたが、何かご確認やご質問はいかがですか。学童保育についてニーズ把握が難しいということですが、今、令和6年度に向けて利用者のニーズを聞いておられるのですか。

#### ●事務局・樽井

保護者のニーズになりますが、毎年度秋頃に、入会希望調査を実施しております。次年度の4月から入会希望するかどうかについてのニーズ把握を行っております。その時に待機児童が発生しそうなところがあ

れば、学校の教室を放課後、借りられないか等の調整を行うことでニーズを満たしていけるようにしております。

●中川副会長

ありがとうございます。東大阪では全て、学校内の空き教室で実施されていますか。それとも近辺でされているところもありますか。

●事務局・樽井

本市公設の留守家庭児童育成クラブについては、全て50の小学校の敷地の中で設置して運営しております。学校の敷地内にプレハブを建てて行うところと、校舎の中に専用教室を設けて行うという2通りになります。

●中川副会長

公設民営ということについて、地域によってはお子さんが移動される場合もあり、これから特に冬場になると暗くなるので、ニーズはあるが需要とのマッチングが難しいことも聞きます。専用教室の整備ということで、児童数の関係もあり学校側も直ぐに教室を提供できると言いづらいこともあると思いますが、出生数は確実に減っているので、教室の環境整備といえますか、学校内で学童保育が利用できることは、非常に保護者や子どもにとって安全を守る点で大切だと思いながら確認させていただきました。ありがとうございます。他にご意見、ご質問を大丈夫でしょうか。それでは、本来の三期計画のご説明ということで、事務局よりお願いできればと思います。

●事務局・増井

－【資料2～7】に基づき説明－

●中川副会長

ありがとうございます。資料5、6、7についてポイントをご説明いただきました。資料8以降は参考でしょうか。

●事務局・増井

はい、参考となっております。

●中川副会長

それでは皆様いかがでしょうか。資料2は今回のアンケートの対象の概要についてです。アンケートは24ページあるものもあり、皆様のところに来たらやっていただけますかということもあります。資料3については、項目が国、府規定なのか、東大阪市独自なのかという一覧となっています。資料4が修正削除一覧で、答えていただく皆様に分かりやすくしているものだと思います。資料5から7の質問表の表現や意味などについて、時間の中で質問をいただければと思いますがいかがでしょうか。

●福池委員

ご説明ありがとうございました。質問が5つございます。まず資料2のI③です。アンケートの実施方法は、住民基本台帳から無作為抽出とありますが、調査対象が就学前児童がいる世帯、就学児童がいる世帯、産婦になります。無作為と言いながら、対象についてはどのように選ばれているのかをご説明ください。2つ目は、無作為抽出した世帯の中に外国籍の方がいれば、アンケートについて何か配慮はありますか。3つ目は、第二期の時も同様のアンケートがあったと思いますが、回収率はどれ程でしたでしょうか。4つ目は、今回は前回からの回収率を元に想定されていると思いますが、有効回収率はどれくらいと考えておられますか。最後は、質問の中に配偶者という表記がありますが、今回はどういう意味で配偶者をお聞きになっていますか。以上です。

●中川副会長

ありがとうございます。それでは事務局よろしく願いいたします。

●事務局・増井

まず抽出方法です。こちらは住民基本台帳からのランダム抽出ですので、エリアや年齢についてできるだけ偏らないような形で条件を設定しながら抽出し、そのデータを元に発送になります。外国籍の方については、外国語のアンケートを作る予定は今はありません。外国籍の方にあたりましたら、こちらに問い合わせいただき、対応方法については検討させていただきたいと思います。回収率について、前回アンケートは4パターンありますが、就学前は47.9%、小学生が49.6%、妊婦さんが49.8%、産婦さんが58.5%ということで全体平均は48.9%でした。有効回収率について、前回程度の回答をいただければ非常に有効なアンケート結果になると考えております。最低どれくらいあればというのは、後程調べさせていただきます。配偶者の表現については、記載される方がお父さんであればお母さんですし、お母さんであればお父さんというイメージをしております。以上です。

●福池委員

ありがとうございます。条件を設定した上での無作為ということが分かりました。受け手が無作為と言いながら、なぜ私が赤ちゃんを産んだことが分かるのか、就学前の子どもがいることが分かるのかと思うのではないかと感じたのでお聞きしました。外国語のアンケートを作る予定はないということで、分からなければお問い合わせをということですが、市の子育て支援事業のためにアンケートをいただきたいと思われるのであれば、問い合わせについて記載がないと何もしていただけないと思います。有効回収率については、統計学で決まったものがあるかもしれないので、ご参考いただければと思います。前回というよりは全体として考える必要があると思います。配偶者についてのお考えはよく分かりました。今は家族の在り方について様々な意見があるので、市として丁寧に考えているということを示される方が、今後のことを考えている市ということが伝わるとと思います。直ぐの回答は難しいと思いますが聞かせていただきました。ありがとうございます。

●中川副会長

とても貴重なご意見だと思います。アンケートの前書きは、アンケートの中に同封されているというところかと思います。ランダムに抽出ということですが、各エリアで児童数の比率などを一定調整されてのランダムという意味ですね。配偶者の意味について脚注を入れるかは分かりませんが、多様なパートナーの関係性がありますから、ひとり親のご家庭にも送付されますので、お子さんを育てているお父さん、お母さんをそれぞれ配偶者とするような説明もどこかに必要かもしれません。特に今回は漢字にルビを振るようなことはされるのでしょうか。

●事務局・増井

ルビは無い方向で今は考えています。

●中川副会長

分かりました。先程、分かりにくいことがあった際のお問い合わせ先も調査の案内に書いてあるということなので、そこまで意欲を持って問い合わせただければ嬉しいことですが、そういうことがなるべく少ないようにとか。お子さんが寝てからアンケートを記載するのも時間的に大変ですので、就学前であればそれぞれの広場のような場所で、アンケートを周知いただくなどの協力依頼や広報でアンケートの趣旨を周知いただくことも必要と感じました。他にいかがでしょうか。東大阪市にお住まいでしたら届く方がいらっしゃるかもしれません。このアンケートがご自身のところに来たと想定しまして。

●中泉委員

小学校保護者代表で参加させていただいています中泉です。三期の計画スケジュールを見て、毎度同じことを言っているかもしれませんが、資料1別紙について教えてください。スケジュールですが、会議が次は2月になっています。その時はアンケートを回収中なので、この会議で進捗状況を聞くこともできず、何のために行うのでしょうか。本日、委員の皆様から色々ご提案させていただいた後の完成したアンケートを私達は見ずに、世に出ていくのかと考えますと責任が重大だと思いながら、このアンケートを見えています。スケジュールについてももう少し詳しく教えていただきたいです。また私は前回、小学生保護者でこのアンケートに当たりました。だいたい2時間程かかったと思います。その時に色々苦慮して作られていることは、この会議に出席しているので一般の保護者よりは分かっているはずですが。話が変わるかもしれませんが、例えば資料1の乳児家庭全戸訪問事業で、新たにアンケートに記載したい項目の、行政に対して妊娠出産子育て支援策で充実を図ってほしいと期待する施策は何かとありますが、記載できるお母さんはあまりいないのではと思います。それでしたら明石市のように、生後間もなくから満1歳になるまで紙おむつを配布する事業等があれば嬉しいですかという書き方にすれば、○とお答えいただくような、例えを書いていた方が具体的だと思います。市も一緒に考えてもらえると思えるアンケートに少し進んでいただけたら、回収率も上がるのではと感じました。

●中川副会長

ありがとうございました。こども家庭庁になり、子どもの声、当事者の声を聞く大切さが言われております。所管する各地方公共団体からアンケートを行うという位置づけからすると、中泉委員のおっしゃりたいことは当事者に分かるのかということですね。また事務局から事前にアンケートを送付し本日や後日ご意見を伺うことも含め、完成版のアンケートが分からないまま、年内や年明けに配布するスケジュールについてもどうかというご意見です。そして当事者が理解しやすい各施策事業の例示についてもありましたが事務局いかがですか。

●事務局・増井

まずスケジュールについてです。2月の子ども・子育て会議については、毎年定例の会議になります。アンケート内容の確定作業について、本日ご意見をいただいた後、ご欠席されている関川会長と本日司会をしていただいている中川副会長に相談をさせていただき、最終確定したいと思っております。そこから委員の皆様にご報告という形を取る予定です。質問の仕方についてですが、具体的な施策名を出した方が分かりやすいとは思いますが、しかし具体的施策を出すとなると質問数が多くなる可能性もありますので、答えてもらいやすい聞き方の工夫については検討したいと思います。

●中川副会長

中泉委員いかがでしょうか。

●中泉委員

検討いただくということでありがとうございます。アンケートに当たった方は、当たってしまったということと、情報を得ることができるメリットもあると思います。例えば病児保育事業の部分、問35に事業を知らなかったという選択肢を追加いただいておりますが、病後児については、平成30年から看護師・保育士がおらず休止中になっており、保護者の方はおそらく知らないと思います。今は休止中ですという文言等を入れていただく工夫があればより分かりやすいです。保護者目線で作っていただくよう検討いただけるという回答を聞いて有難いと思いました。以上です。

●中川副会長

ありがとうございます。各事業の名称を書くのであれば、内容や現状について留意する点など、アンケートに書くと入らないと思いますので、説明書きがある別紙を入れることができれば回答する方の目線になると思います。それがまた市の行う事業の直接的な啓発やアピールにもなり、時間はかかるが丁寧に答えていただけるかもしれません。ありがとうございます。他の委員、いかがでしょうか。はい、西岡委員どうぞ。

●西岡委員

アンケートの量が膨大で、本来は全て確認したうえで出席しなければなりません、見れていない部分もあり、もし記載があれば教えていただきたいです。子どもさんが生まれ、東大阪で長く子育てをされるとい

う形を基本考えていきたいと思いますが、アンケートの中に小学校に行く時に他市へ引っ越しする予定や、その理由についての設問があれば、引き続き継続して東大阪で子育てしてもらえるヒントにもなると思います。先程、紙おむつを無料で配る他市の例もありましたが、市の方から書くことが難しいのであれば自由記述欄を作り、その制度ができるかは検討になると思いますが、せっかくこれ程の量のアンケートを市民の皆様様に配られるのであれば、具体的に書ける欄があればというのが1点です。

次に資料1に戻りますが、保育の供給体制について人材確保も事業評価の課題としてあります。非常に保育士不足は引き続き深刻な状況とあり、人材確保に向け就職フェアなどの効果的な手法については開催時期を検討する必要があると記載があります。留守家庭事業についても同様にクラブを増やしていただいているのですが、中々人材確保も難しいのではないかと考えております。市では、保育士、留守家庭事業について、人材確保の状況をお聞かせいただければというのが2点目です。

もう1点は、留守家庭事業について空き教室を使うことを検討するのが難しいとあったと思います。今は1学年が1、2クラスなど少ないと聞いたりします。昔はもっと1学年、5、6クラスあったと思いますし、空き教室の確保に努めており、どうしても確保できない場合はとありますが、なぜクラス数が減ってきている学校もあるのに確保が難しいのかという理由もお聞きしたいです。前回発言させていただきましたが、留守家庭の中で子ども食堂や学習支援など、アンケートに書かれていれば申し訳ないですが、学童に預けられた時にどのようなことをプラスで求められるかです。学童の18時半までと保育園の19時までの30分は違々と前回ありました。18時半は夕食時よりも後ろになるので、保護者の方は仕事を終え、そこから宿題を見たり食事を作ったりと悩みがあると思います。第2子、第3子の出産と言っても、経済的な理由以外に子を育てにくいということが現代は多いです。そのようなことについてアンケートで聞いていただいたり、書けるところがあるのかも聞きたいです。もし無いのであれば検討いただき、設問としていただけると書きやすいアンケートになると思います。以上です。

#### ●中川副会長

ありがとうございます。資料1にも関連して人材不足の動向や、他市への移動意向や理由など現状の子育て世帯は東大阪市での子育てについて、どのように考えているのかが分かる項目があったのかどうか、また留守家庭事業の空き教室確保について学校によれば児童数の減少があり、なぜ難しいのかというご質問です。またそのようなことがあるので、留守家庭事業の中でのニーズや期待したい内容を書ける欄があるのかというご意見だと伺いました。それぞれ事務局、アンケートの部分と学童に従事する方や保育士等の支援者側の人材確保については、アンケート以上に市として鋭意努力をされていると思いますが方向性についてお聞かせください。

#### ●事務局・増井

まずアンケートの自由記載についてです。全アンケートの最後に自由記載欄はあります。ただ聞き方が、転居意向などではなく子育て支援に関してご意見があればということになっております。資料7の産婦アンケートについては、転居の理由を聞いております。問12、13です。転居予定があるか、その理由をお聞きしています。アンケートについては以上です。

### ●事務局・辰己

保育士確保についてお話しさせていただきます。資料1にもありますが、保育人材の確保については就職フェアや子育て支援員の研修を市として継続して現在も取り組んでおります。就職フェアについては、ここ数年秋頃の開催、就職活動されている学生さんの確保という点でもう少し早い開催がよいのではということがあり、来年は予定ですが早期の春頃に開催するなど、工夫を凝らし今後も就職フェアや、子育て支援員についても需要があるので、拡大して取り組んでまいりたいと思います。

### ●事務局・樽井

留守家庭児童育成クラブの人材確保についてです。本市は、公設民営という形で各クラブの運営については、選定した事業者が運営しております。クラブで働く職員についても事業者が雇用しております。事業者と話す中で、人材確保が難しいことは聞いております。留守家庭児童育成クラブ自体が放課後の小学生を預かる事業になるので、職員について勤務が放課後から夕方の時間帯になり、一般的な正規職員のような勤務時間帯にはならないので、パートタイムが多くなる形になります。その時間帯で働かれないという方も少なく人材確保が難しい状況にあると思われれます。市としては、そのような現状も理解したうえで、広報誌やウェブサイトなどに留守家庭児童育成クラブの職員募集についての記事を掲載し、職員確保に向けた取り組みを行っております。続いて空き教室確保についてです。先程おっしゃっていましたが、少子化でクラス数の減少はありますが、各学校によると様々な教室の使い方があります。留守家庭児童育成クラブの教室として使う場合は環境を整える必要があります。具体的には靴を脱いで上がれるような教室でそこに長机を置き宿題をしたり、おやつを食べたり、遊んだりができる環境が必要です。一方、学校の教室としては、床に机や椅子を置いた状態で使用されているので、我々が求めるような仕様にできるかどうかというところがあり、放課後だけ使用することが難しい場合もあります。学校とも協議をしたうえで、我々が求めるような形で使えない場合、教室は空けられないということになります。また留守家庭児童育成クラブの中で、自由記述として何か求めることがあるかについてですが、小学生向けのアンケートで問32で現在通っている留守家庭児童育成クラブに対してどのように感じておられるかというところで、その他という部分を自由記述として使用できるようになっております。問33でも、留守家庭児童育成クラブについて、改善を希望することはありますかというところで自由記述を設けております。このようなところで希望があれば書いていただく形をとっております。

### ●中川副会長

ありがとうございます。西岡委員いかがですか。

### ●西岡委員

ありがとうございます。記載がある部分も確認ができました。最初の転居の部分は、今の問のみではというところがありますので、もう1文、質問事項を入れていただき理由を聞ければいいと思います。3つのアンケートで転居予定とその理由を聞けると、東大阪市の子育ての施策として何かのヒントになるのではと思います。検討いただき入れていただければお願いしたいです。留守家庭について、私は保育園の立



場ですが、園児が卒園してからどのようになっているかは気になるころではあります。夕方からの勤務なので確保が難しい点、納得できるところで分かりました。空き教室について靴を脱ぎ入るといった環境整備も理解できますが、夕方から空くのではなく、1学年のクラス数が減ってきているので、1年中空いている教室もあるのでとも思います。靴を脱いで入る環境を保てることも工夫で可能ではないかと感じます。保護者の方も学童に入れるか分からないと言っているので、確保いただきたいなと思います。しかしその分、人材が必要なのでそのバランスが保育士の人材不足と同様なのかなど。今回は利用される方へのアンケートですが、保育所、留守家庭クラブで働いている職員方にどのようなところがしんどいのか、どうして辞める気持ちになったのかを聞ければいいのではないかと思います。私立保育会でもそのようなアンケートをまとめてみようとしております。また報告できることがあれば、一緒に考えていければと思っておりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

#### ●中川副会長

ありがとうございます。民間園の人材確保と定着についてのアンケートも共有できれば、確保の問題、定着の理由を考えていけます。この辺り福祉系の人材について、今日の日経で見ましたが、介護系の現場で必要なニーズに対して人材が埋まらないとありました。必要な人数は25名くらいの規模の事業所で、その内10名のみで業務を回す必要があり1人あたりの負担が大きくなるという記事でした。本来必要な人員について、保育園は子の年齢によって厳しく精査されていると思います。市としても色々なフェアや、大学のキャリア部門との早期からの連携などもあると思います。それぞれの立場からご意見ありがとうございます。他にいかがでしょうか。はい、中西委員。

#### ●中西委員

お疲れ様です。私からはお願いがあります。私は障害のある子ども達の施設の代表として来てます。それぞれのアンケートについて、障害がある子や不登校のような配慮が必要な子どもさんの家に届いても、中々そのようなお子さんの意見を吸い上げられるようにはなっておりません。そうして欲しいというつもりはありません。一般的なご家庭向けのアンケートなので、内容を障害があつたり不登校の子達へ広げると膨大な量になり、現実的ではないと分かっております。ただ、このアンケートで全ての子ども達の家庭の意見が集約できたとは思えないと思います。同時に配慮が必要な子ども達、そのご家庭の話聞ける場所や、第三期計画の素案を作る5月や6月までの間に、同じようなアンケートに近い内容ができると思いますので、有識者を集めて会議を開くこともそうですが、全ての子ども達のための計画になりますので、そのような声も入るようにしていただければと思います。このようなアンケートをして、行政の方が考え最後につけて配慮する、障害者に対しやさしくするや不登校のことを考えるのではなく、策定するまでの間に情報を取ったり、会議を開くことができると思います。アンケートを取ることが無理でも一緒に話ができるような場があればいいなと思っております。本日は福祉の方は来られておらず教育、保育の関係者ですが、その辺り一度ご検討いただき、全ての子ども達に対しての計画にさせていただきたいのでよろしくお願いいたします。

●中川副会長

事務局いかがでしょうか。中西委員より大切なお願いがあり、当事者や当事者を支援されている団体へのニーズ等のヒアリングについてですが。

●事務局・増井

はい、アンケートだけではないという点はその通りだと思います。障害のあるお子さん等について担当部署でも様々な情報や関係団体があると思いますので、関係部署に聞きながら計画への反映方法について協議していきたいと思います。

●事務局・岩本

子どもすこやか部の岩本です。いつもありがとうございます。中西委員の意見ですが、例えば医ケア児であれば、支援連絡会議でも様々な立場の方からご意見をいただいていますので、そのようなものも参考にして計画に反映できればと思っております。よろしくをお願いします。

●中川副会長

ありがとうございます。医ケア児の支援連絡会議や、中西委員がおっしゃった障害のあるお子さんを支援しているいくつかの事業所、また不登校の子ども達について、東大阪市でもフリースクール等色々あると思います。中々声が届きにくい方達を含めたヒアリングということで、団体や支援に取り組んでおられるところから意見を聞き取っていただけたらと思います。他にいかがでしょうか。はい、奥野委員。

●奥野委員

私も保護者の立場でこの会議に参加させていただいています。アンケートの周知について、いきなりこちらが送られてきて、そこに趣旨が書かれていてもお忙しい方からするとこれは何かと思われるのではと思います。事前に東大阪市はこのような目的で、アンケートを実施するということを周知されると思いますが、市政だよりやホームページよりも小学校であればスマイルネットでの事前周知、保育園や幼稚園にも依頼する方が、最初のアンケート理解もでき、回収率も少し上がるのではと思いますがいかがでしょうか。

●中川副会長

アンケートの周知について、具体的な提案もいただきましたが事務局いかがでしょうか。

●事務局・増井

ウェブサイトや市政だよりの広報は予定しておりますが、広く学校や保育施設に周知をするかについて、アンケート自体が全員に配るものではないので、効果的な周知方法を検討したいと思います。

●中川副会長

周知についてのご指摘は全数に送るものではなく、回答したら何かもらえるというインセンティブ等の提

供が難しいにしても、自分達の声が東大阪市の子育てに反映されるという機運を高めるためには大切です。アンケートの声が叶うことになると、転居のところでもありましたが、東大阪で子育てをして良かったという積み重ねになり、様々な人達が見守ることに繋がります。アンケートの機会があるということを園等にチラシを貼ってもらったり、今は IT でホームページより具体的に皆様に届くよう、インスタグラムをされている事業者の記事を載せてもらったり、学校の先生を通すなどの方法があるのかなと思います。アンケートを知らなかったということが一番残念なので、その辺をご検討いただければという重要なご意見でした。他はどうでしょうか。はい、下岡委員。

#### ●下岡委員

本日はありがとうございます。私は公立幼稚園の園長をさせていただいていますが、前回の会議の中で、保育所でも夜遅くまで子ども達を預かっていることがいいとは思っておらず、できれば少しでも早く迎えに来ていただき、お家での温かい環境の中で過ごしてもらうことを望んでいるということをお聞きしました。私達もいつもそのことを思っていて、アンケートに要望を書くと、事業所や各学校園に 20 時まで、21 時までというように、このままいくとより遅くの保育を望まれる方が増えるのではと思います。職業の多様化・子育ての多様化も踏まえ、ニーズがここ数年ですごく広がり、私達も中々ついていけません。私は昨年度までこども園の園長をしてましたが、朝 7 時から夜 19 時の保育となると職員は 6 時から 20 時までの仕事となります。するとその職員の子どもを預ける場所がなく、子どもを預けられる人しかこの仕事に就けなくなってきたのも人材不足の 1 つと思っています。ハード面に充実させていくところは行政の方も、財源の捻出や様々な部分で努力していただき感謝しております。このアンケートは子育て真っ只中の方や、就学前のお子さんがある方にとって、こう言う意見を書けば行政に届くのではと、社会の皆さんに届くのではないかと思われるかもしれません。しかし、子育てが終わり次の世代になった時に、このアンケートをどこまで社会として理解して、このことをみんなで推進する手助けができるのではないかとか、子育てを社会全体で今言われている、こどもまんなかの教育・保育というところに繋げるということは、子育て中の方々のみでは難しいので、アンケート結果などをより多く社会の方へ周知いただくことが大切です。またアンケートされる時の周知も大切ですが、子育てを支えていただく社会の方へ結果の報告も、現場ももちろんですが工夫しながらできれば、それが今言われている保育、教育の質に着目するところに繋がると本日の会議で感じました。私たちが任意で行っているような会議がありますが、私立、公立、学童それぞれにできること、子どもを支えるためにできることを考える場がこの会議だと思いますが、もう少し細かい部分について考える場があればより多くの方に理解いただけると思い、この会議を通してそのようなお話をする機会に繋がればと考えております。

#### ●中川副会長

ありがとうございます。ご意見として、職業の多様化があり、どこまでそこもアンケートで聞くのか、もちろん子どもまんなかなので、まず子どもにとってを考える必要があります。子どもとその家庭を支援していくとなると、保護者は夜勤や夕方からの勤務等があり、働く側の現場が、いい意味で働きやすい環境になることと連動すると思いつつ伺っていました。職業の多様化について、子どもの視点も置きながら多様な

家庭もあることを考慮し、アンケートの周知とともに、結果の周知もとても大切だと思います。協力いただいた方へのお礼ではないですが、皆様の意見を踏まえながら計画を作成しているという流れになればと思います。他にご意見いかがでしょうか。それでは質疑というわけではありませんが、まだご発言いただいている方にも感想で構わないので、一言ずついただければと思います。

#### ●川南委員

重複することでしたので発言させていただいておりませんでした。西岡委員がおっしゃっていましたように、東大阪市で住み続けてもらえる気持ちがあるのかについてです。設問が多く負担も増えますが、産婦のアンケートのみにその設問がありますが、子どもを育ててみて初めて色々実態が分かります。私も3人子育てしてきた中で、東大阪市は待機児童が多く困り、正直他市に移りたい気持ちもありました。しかし事情があって移れないこともあり、そのようなことを書ける欄があれば、思いを書く方もいらっしやると思います。子育て施策も全国統一ではなくなり自治体の特色があります。若い世代の方がそれぞれのようことを考えておられるかについて、アンケートでつかみたいと思うので、そのような思いを聞けるスペースがあればと思いました。

#### ●中川副会長

ありがとうございます。3人の子育てを東大阪でされ、事情で他市へ移れなかったということで、そのような方の声を聞くことについて、アンケートの項目に入れろというわけではありませんが、皆様と一緒に考えていくというアンケートだということが市民に届けばいいなと思いながら聞いておりました。それでは阿部委員、本日はいかがでしたでしょうか。感想やご意見をいただければと思います。

#### ●阿部委員

失礼します。お話を聞かせていただいて2点あります。1点目は私も今、子育て真っ最中の世代ですので、子どもも朝、駄々をこねたりなど思うようにいかず、どうしようかということが多々あります。子どもを預けた場合、自分はそのまま働きにいきますが、預けた施設で働く側の方々にも家族があると思うので、それぞれの職業で出来るところはするが、出来ないところまで無理に行わないという仕組みを作ることが必要だと思いました。またアンケートについても、情報を多く仕入れることも必要ですが、一つ一つに人権が守られる必要もありますので、アンケート作成の際にはそこについてもよろしくお願い致します。以上です。

#### ●中川副会長

ありがとうございました。それでは大西委員、お願いします。

#### ●大西委員

まずこのアンケートを見させていただいた時に、私だったら答えないかなと思いました。なぜなら項目が多すぎるのではと感じました。また細かいところですが、東大阪市として相談しやすい場所など、市として独自で調査される部分は、国・府とプラスアルファで市としてどのように考えておられるかの説明があれば

いいと思いました。以上です。

●中川副会長

独自項目の市としての意図や理解についてですね。ありがとうございます。続いて中村委員いかがですか。

●中村委員

認可外保育施設の代表として来ております中村です。事業柄、企業主導型の保育園をしておりますが、それと小規模保育園を併設して事業を行っております。人材確保ということで企業主導型の方は、企業の従業員のお子さんをお預かりしているの、私どもであれば自社の職員のお子さんを預かるということで、募集も充実してできる時もあります。しかし雇用の継続、特に産休・育休明けの職員復帰率も高くなってきますが、その時に、職員の雇用権利と言いますか、有休や時短、保育園に入れる入れないも含め、継続はしたいが働き方的にその分を補うための早出、遅出で働かされている方のケアが難しい。そのような雇用は職員的にも負担がかかり、継続が難しく居り辛くなりそのまま退職するケースもあります。早出、遅出のみの中途半端な雇用のしかたは難しくなっています。その中で職員全体で、パートを含め、配置人数的なもの、もちろん質とかが下がるかもしれないが、その辺りを教育とか指導していただけるような体制をとって、そこを継続していけるような方法を、先頭切って考えていただければと思います。

●中川副会長

ありがとうございます。それでは檜崎委員お願いします。

●檜崎委員

公立保育所の代表で来ております檜崎です。待機児童は0となっておりますが、公立保育所に来られた保護者に聞くと、年齢によっては入りたくても入れなかったという声もあります。その辺りアンケートの中で聞くことも大切だと思います。保育士確保についてもどこの園も不足しているので考えていければと思います。

●中川副会長

ありがとうございます。保育園に申し込むタイミングもあり待機児童の件も難しいと思いますね。それでは続いてお願いします。

●森内委員

私立幼稚園協会から参りました森内でございます。私立幼稚園協会ですが既に半数以上の加盟園が認定こども園に移行しております。幼稚園、保育園の課題については、皆様と同じく保護者の方からのご意見も伺っております。その中で本日の検討事項としてのアンケートについて、皆様方から色々なご意見をお聞きし同意することが多いので、是非ご反映いただき、よりよいアンケートができればと思っております。また、奥野委員がおっしゃっていたようにアンケートの周知について、せっかくいい取り組みをされていますので、

東大阪市として子育てに関してこのようなことを行っている意味も込めて市民の方々に周知をしていただけると、保護者の方も安心していただけるのではないかと考えております。幼稚園協会として周知が必要でしたら、ご依頼をいただければ全力でご協力させていただきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。以上です。

●中川副会長

ありがとうございます。それでは最後に山中委員よろしく願いいたします。

●山中委員

東大阪市 PTA 協議会から来ました、山中と申します。正直に言いますと、このようなアンケートを取っていたことを初めて知った状況です。アンケートについて、一通り確認させていただきましたが、就学前、小学生でありあまり代わり映えがしないと感じました。我々PTA としましても、保護者の悩みは子育てが続くほど、例えばしつけであればどのように子どもに伝えるか、怒ってしまうなど、リアルな声として聞きます。子育てについてどのような点について苦勞されているか、困っているかというような項目を、それぞれのステップに応じて入れていただくのも良いのではと感じました。また、アンケート結果を元に、市としてのサポートを情報として、小学校を通じて保護者へ案内できる機会があれば助かるのかなと思うので、ご検討をお願いします。

●中川副会長

ありがとうございます。委員になってこのようなことをされていたのかという率直な声だったと思います。国項目などは同じようなことを年代を変え聞いてしまっておりますが、市独自の項目の工夫の重要性についてでした。またその結果についてHPには出るとは思いますが、見ていただきにくいので、先程からありますが結果の周知についても工夫が必要だと思えます。ありがとうございました。色々ご意見をいただきました。事務局へお返しします。

●事務局・山口

ありがとうございました。それでは以上をもちまして、第 45 回子ども・子育て会議を閉会させていただきます。本日は長時間のご審議ありがとうございました。